

町内外から 支援の輪 広がる

# 各団体から寄付金・義援金受贈

安全・安心な生活環境のために  
山田町商業事業協同組合



7月20日、山田町商業事業協同組合から寄付金をいただきました。同組合では、毎年、高齢者や子どもなどの安全・安心な生活のため、ポイントカードの発行ポイント高に応じた寄付金を、各団体へ贈っています。

江東区深川地区からの支援  
富岡八幡宮神輿総代連合会



7月2日、東京都江東区深川地区にある富岡八幡宮神輿総代連合会から、町に義援金が贈られました。同会からの支援は平成25年、27年に続き3度目。この義援金は、被災者支援に使われます。

チャリティーショー売り上げ寄付  
山田民謡伝承会



7月20日、山田民謡伝承会（新保いさお 会長）が主催した復興支援チャリティーショーの売り上げの一部を、ご寄付いただきました。同会からは、震災後から継続して支援をいただいています。



王会長へ義援金を贈呈する佐藤町長

佐藤町長は、地震災害の被害に対するお悔みと、東日本震災の際の多大な支援へのお礼とともに義援金を贈呈しました。

2月7日に発生した台湾東部地震災害により、甚大な被害を受けた台湾。町では、被災された方々を支援するため、ことし3月まで皆さんから義援金を募っていました。そして今回、岩手県町村会の台湾視察研修に併せ、台湾赤十字社への贈呈が叶いました。

6月24日、佐藤町長が台湾赤十字社の王清峰会長へ、台湾東部地震災害の義援金を贈呈しました。

**台湾東部地震災害  
台湾赤十字社へ  
義援金を贈呈**

作家三浦綾子の人生の物語  
著書「道ありき」の講演会

**三浦綾子読書会**  
特別企画

**日時** 8月31日(金)  
午前10時～正午

**場所** まちなか交流センター

◆問い合わせ 三浦綾子  
読書会 (大滝 ☎080-  
5832-4132) へどうぞ。

沼崎 悦子(船越・76)

梅雨の部屋 頂きしメロン 香放つ  
幾年を 生きた証の しわ白髪

お陰様 皆に支えて 頂いて  
感謝を胸に 今日も生きてく  
匿名(曹間根)

真夏日に 我れの助っ人 保冷剤  
何も出来ずに 今日も暮れ行く

粟の花 咲きしなだれて 梅雨探し  
仮設住まひの 人ら思はめ  
内館 洋一(飯岡・75)

あじさいの 明るき道を 歩み来て  
藍の呼吸を ふかぶかとする

山田町民文芸広場

みんなの  
スペース

◆あて先・問い合わせ  
〒028-1392 (住所不要)  
山田町役場総務課情報係  
(☎82-3111内線417) へ。

## 町長室から

県内の町村長らと共に、台湾へ視察研修に行ってきた。今回の視察は、間もなく運行予定の花巻台湾定期便の事前あいさつも兼ねており、この定期便の運行は、利便性の向上や県内観光客の増加に寄与することだろう。▼家内から、この時季台湾は雨が降るので——と、傘を持たされた。添乗員も「この時季は雨が多い」とのこと。しかし、3日目になってもカンカン照りの晴天で、体感温度は40℃以上暑さにほとほと参っている。と、共に行った仲間が「山田町長が傘を持参したおかげだ」とポツリ。酷暑の中、笑いに救われた。▼震災の時に多大なご支援をいただいた台湾赤十字社の王清峰会長にお会いしお礼を伝えたと、今夜の夕食を皆さんにご馳走したいという。予定があり叶わなかったが、口の悪い仲間が「山田町長だけ残してくれば良かった」と言った。私もそうしたかった。

山田町長 佐藤 信逸